



# 2015年3月期 決算説明会

2015年5月20日

代表取締役会長

實吉 繁 幸

	ページ
<b>2015年3月期決算</b>	…… 2-18
<b>当社の経営戦略</b>	…… 19-26



# 2015年3月期決算

## ● 経営環境(中期的なトレンド)

- 医療費抑制策は継続、予防医療・医療過誤抑制及び業務効率化への動き拡大

⇒ RFIDの利用による検体情報の統括管理ニーズの喚起  
(外来/病棟の採血～検体検査、採尿の検体検査など)

新製品の投入で医療現場における活用領域拡大を目指す  
<BC・ROBO-8000RFID、UA・ROBO-2000RFID、u-TRIPS>

- ROBOの国内市場開拓率:大病院 73%、中病院 16%  
⇒ 健診施設・クリニック等向け新製品 <BC・ROBO6> の展開

## ● 前期の経営環境

- ROBOの更新需要捕捉・・・新製品(ROBO-8000RFID)が貢献
- 各国で経済情勢不安定・・・案件を選別。アジアではROBO増加

## ●主な取組み

### ➤ROBO

大病院 ⇒更新需要の捕捉  
中病院 ⇒新規開拓の加速  
健診センター ⇒販路拡大

⇒ { 粗利率を維持しつつ  
新たな市場を開拓

### ➤検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科及び動物病院、小病院  
へも販路拡大

### ➤輸出

各国の経済情勢不安定継続。引き続きキメ細かく案件捕捉

### ➤新製品

- ・検体情報統括管理システムを搭載したBC・ROBO-8000RFID
- ・RFID尿検体管理システム(u-TRIPS)の上市
- ・静脈可視化装置の利用拡大(麻酔科・小児科、救急救命等)
- ・生活習慣病の予防ニーズを捉えたヘルスケア関連製品提案

# 2015年3月期決算-3

## ● 決算サマリー

	2014年 3月期		2015年 3月期		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
<b>売上高</b> (期初見通し)	<b>9,000</b> (9,400)	<b>100.0</b> (100.0)	<b>9,519</b> (10,019)	<b>100.0</b> (100.0)	<b>+ 5.8</b>
<b>営業利益</b> (期初見通し)	<b>2,156</b> (2,000)	<b>24.0</b> (21.3)	<b>2,320</b> (2,302)	<b>24.4</b> (23.0)	<b>+ 7.6</b>
<b>経常利益</b> (期初見通し)	<b>2,159</b> (2,005)	<b>24.0</b> (21.3)	<b>2,323</b> (2,306)	<b>24.4</b> (23.0)	<b>+ 7.6</b>
<b>純利益</b> (期初見通し)	<b>1,355</b> (1,282)	<b>15.1</b> (13.6)	<b>1,486</b> (1,447)	<b>15.6</b> (14.4)	<b>+ 9.7</b>
<b>1株当り純利益 (円)</b>	<b>154.7</b>	<b>----</b>	<b>169.7</b>	<b>----</b>	<b>+ 9.7</b>
<b>1株当り純資産 (円)</b>	<b>1,272.5</b>	<b>----</b>	<b>1,409.3</b>	<b>----</b>	<b>+ 10.7</b>

(注) 2013年10月1日を効力発生日として、1:300の株式分割を実施。上記の1株当り指標は、2014年3月期の期初から株式分割をしたものと仮定して計算。

※粗利率低下だが販管費削減で営業利益率は前期比横這い。

## ● 品目別売上高

(単位:百万円)

	2012年	2013年	2014年	2015年	
	3月期	3月期	3月期	3月期	前期比 (%)
採血管準備装置	3,675	3,516	4,204	4,535	+ 7.9
構成比 (%)	46.1	43.1	46.7	47.6	----
検体検査装置	657	770	681	608	△ 10.7
構成比 (%)	8.2	9.4	7.6	6.4	----
消耗品等	3,450	3,663	3,905	4,103	+ 5.1
構成比 (%)	43.2	44.9	43.4	43.1	----
その他	197	201	207	271	+ 30.8
構成比 (%)	2.5	2.5	2.3	2.9	----
合計	7,980	8,151	9,000	9,519	+ 5.8

採血管準備装置は大病院を中心に更新需要を捕捉。TRIPS機能付多く国内1案件当たりの単価上昇

# 2015年3月期決算-5



患者の検査情報



## 採血室

RFIDラベルへ情報の書き込み  
一患者1トレイで準備

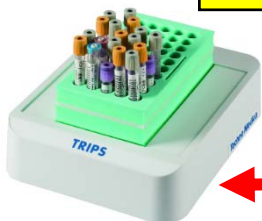
RFID

- トレイを置くだけで約1秒で番号表示
- トレイの中の採血管も同時に一括照合

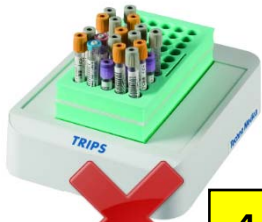
## 検査室



4秒で確認



1本紛失の場合



4秒で確認



4秒で確認







## 病棟検体回収の優位性

RFID

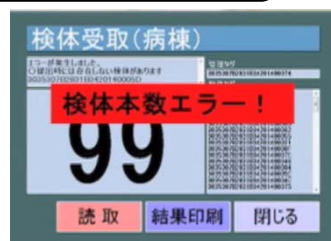


病棟検体

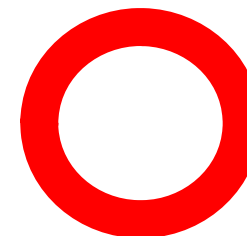
検査室へ



4秒で照合完了



- 不足が分かればすぐ病棟へ連絡
- まだ当直の看護師がいるため確認が可能



バーコード



病棟検体

検査室へ



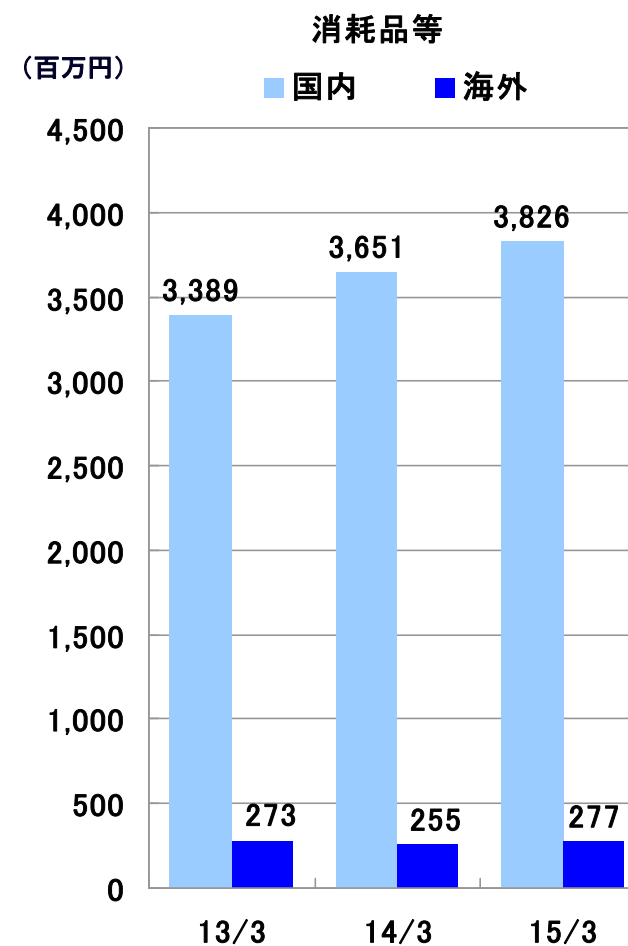
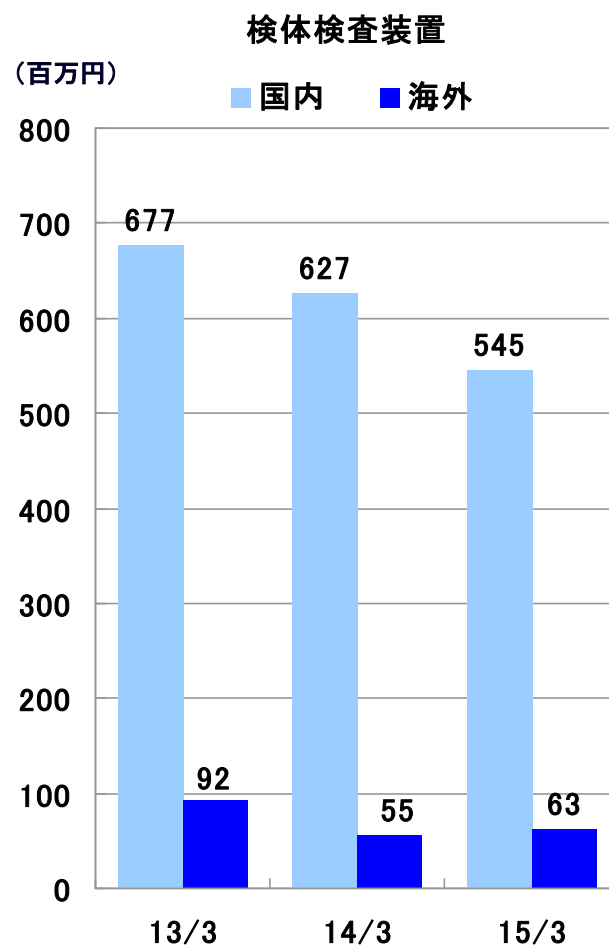
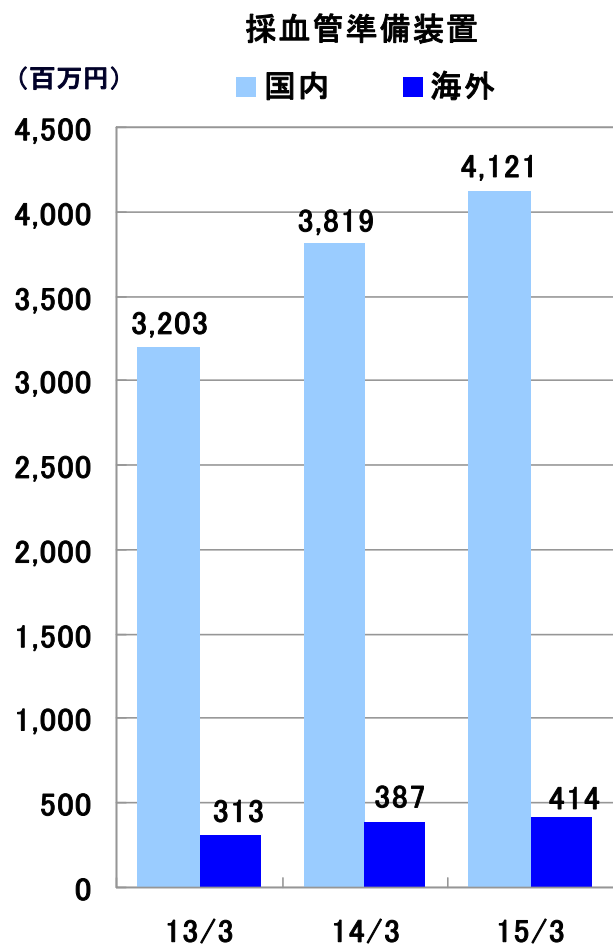
100本読取約5分



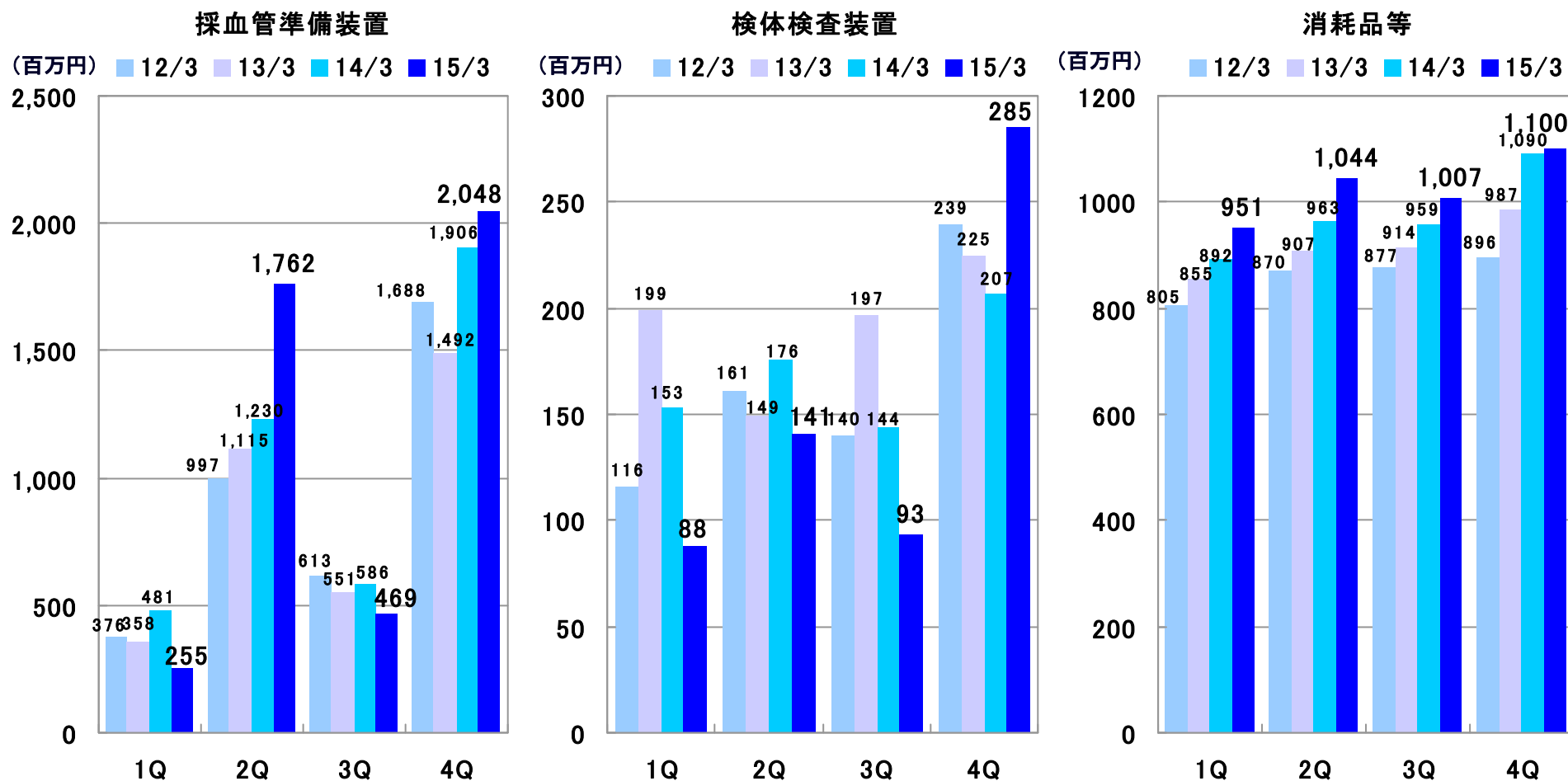
- 時間が掛かり既に当直の看護師が帰宅して分からないことも...



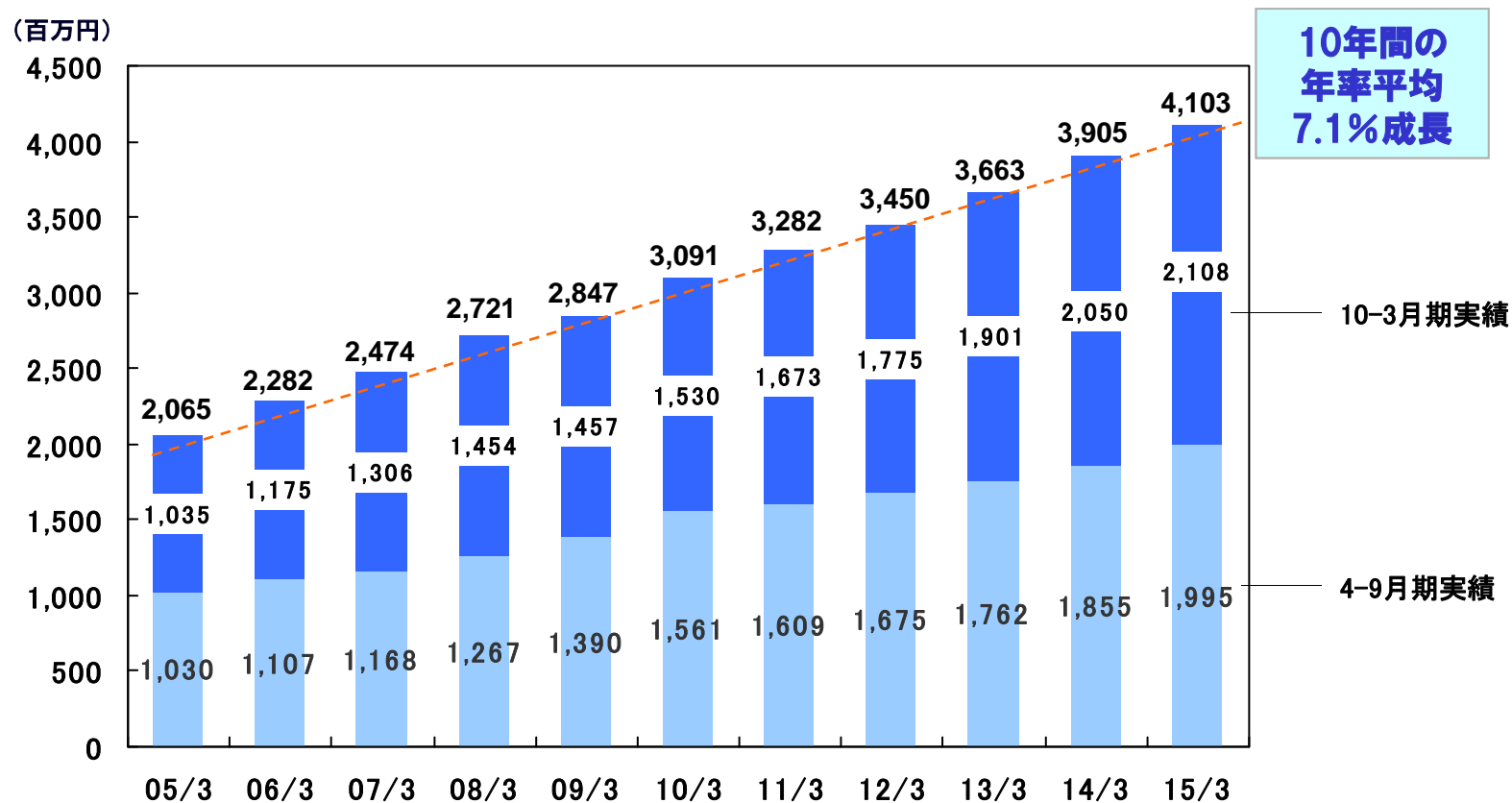
## ● 品目別売上高(国内・海外別)



## ● 品目別売上高(四半期別)



## ● 消耗品等の売上高推移(過去10年度)



## ● 採血管準備装置－ROBO納入施設数

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
<b>納入施設数</b>	261	258	274
<b>国内</b>	208	208	220
(中間決算時見通し)			(223)
<b>内、新規</b>	67	54	51
(中間決算時見通し)			(52)
<b>内、更新</b>	141	154	169
(中間決算時見通し)			(171)
<b>輸出</b>	53	50	54



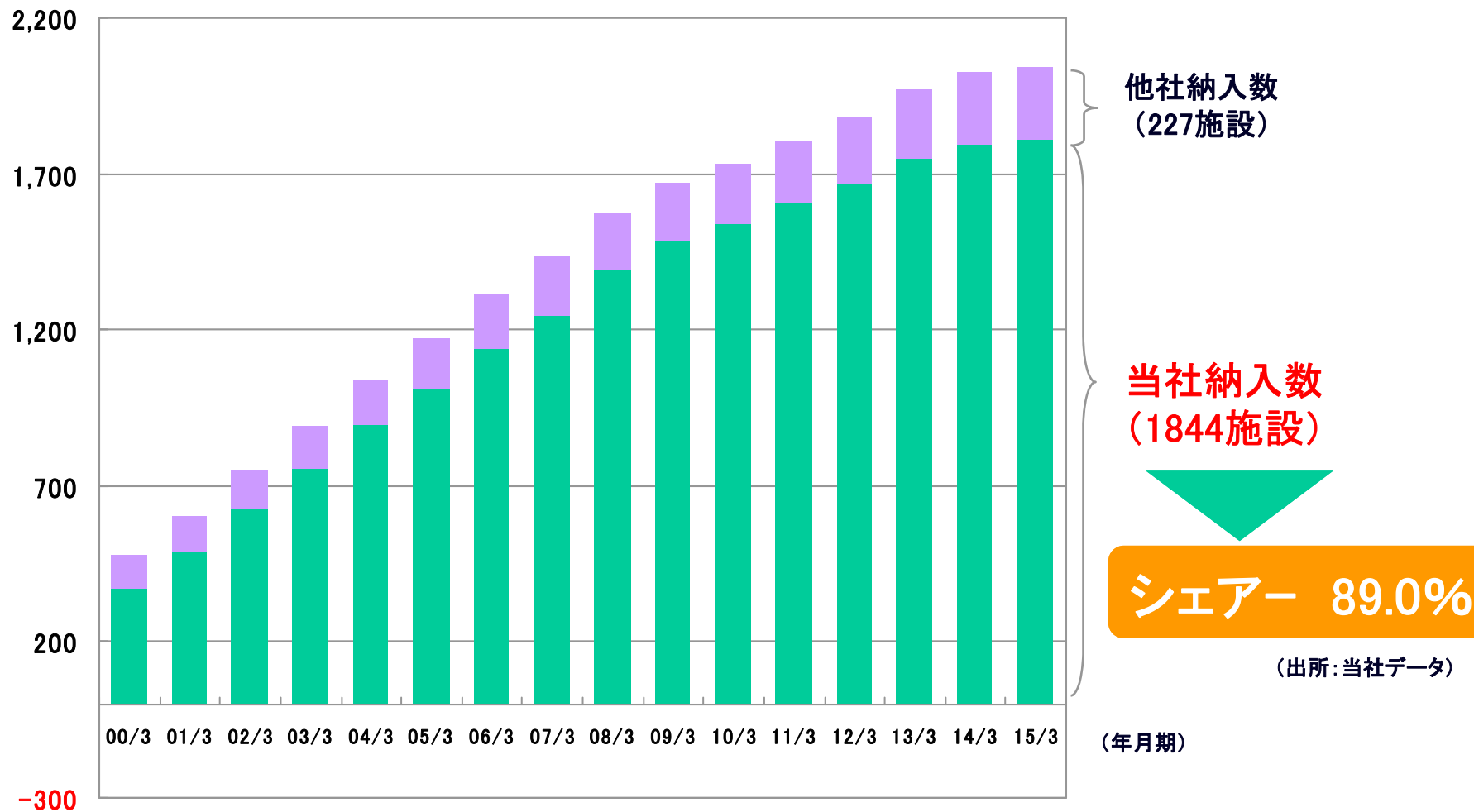
### ・国内の納入推移(含む更新)

	12/3	13/3	14/3	15/3
<b>大病院</b>	72%	78%	76%	76%
<b>中病院</b>	26%	21%	23%	23%
<b>その他</b>	1%	1%	1%	1%

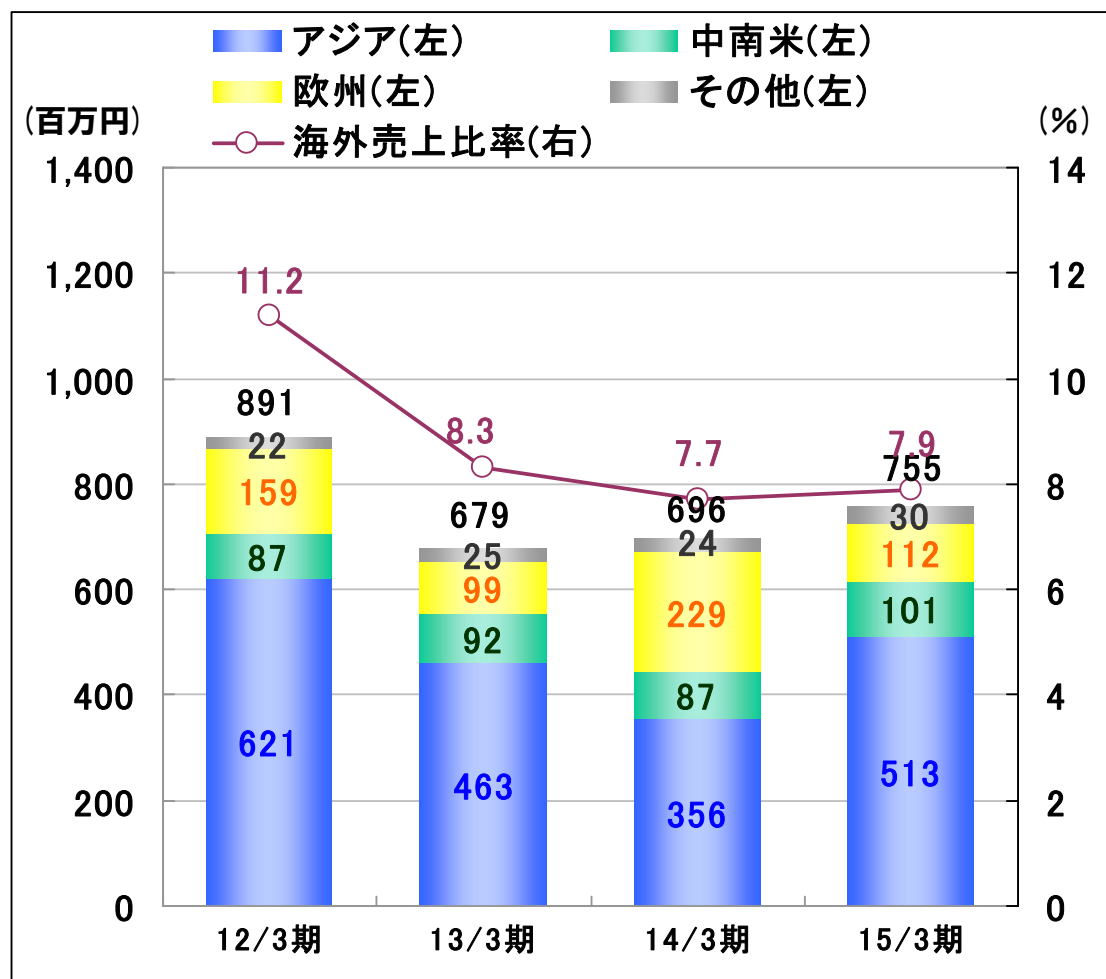
- ・平均納入単価(国内+輸出)  
‘15/3:17.0百万(前期:16.3)
- ・国内:更新では高付加価値化製品の導入を促進
- ・輸出:計画比、低調。アジアと中南米で増加だが、欧州で減少

## ● 採血管準備装置－納入施設の推移

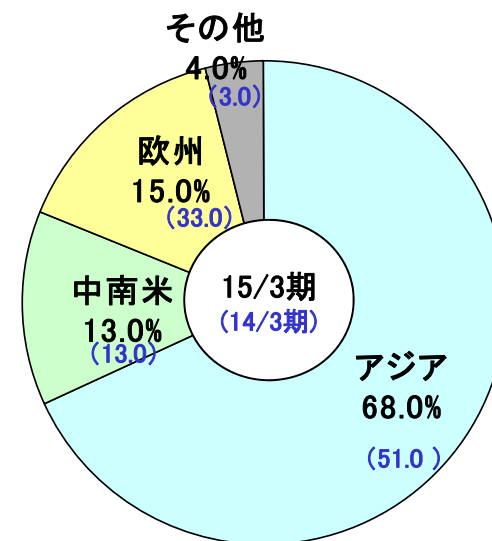
(累計施設数)



## ● 海外売上高



## 地域別の売上構成比



2014/3月期：  
欧州を除き、全地域で前期比減少

2015/3月期：  
欧州で減少だが、他の全地域で前期比増加

## ● 要約損益計算書

(単位:百万円、%)

	2014年3月期		2015年3月期		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	9,000	100.0	9,519	100.0	+ 5.8
売上原価	4,467	49.6	4,990	52.4	+ 11.7
売上総利益	4,532	50.4	4,528	47.6	△ 0.1
販売管理費	2,376	26.4	2,208	23.2	△ 7.1
(内 研究開発費)	472	5.2	351	3.7	△ 25.6
営業利益	2,156	24.0	2,320	24.4	+ 7.6
営業外損益	3	0.0	3	0.0	---
経常利益	2,159	24.0	2,323	24.4	+ 7.6
特別損益	0	0.0	0	0.0	---
法人税、調整額等	804	8.9	836	8.8	+ 4.0
当期純利益	1,355	15.1	1,486	15.6	+ 9.7



## ● 要約貸借対照表【資産の部】

	2014年3月末		2015年3月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
<b>流動資産</b>	12,108	87.5	14,038	89.5	+ 1,930
現預金	6,119		7,539		+ 1,420
売上債権	4,218		4,834		+ 616
棚卸資産	1,701		1,596		△ 105
その他流動資産	70		67		△ 3
<b>固定資産</b>	1,737	12.5	1,655	10.5	△ 82
有形固定	1,420		1,356		△ 64
無形固定	35		31		△ 4
投資等	281		268		△ 13
<b>資産合計</b>	13,845	100.0	15,693	100.0	+ 1,848

## ● 要約貸借対照表【負債・純資産の部】

	2014年3月末		2015年3月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
<b>流動負債</b>	2,412	17.4	3,048	19.4	+ 636
買入債務	1,492		2,121		+ 629
短期有利子負債	-		-		-
その他流動負債	919		926		+ 7
<b>固定負債</b>	286	2.1	300	1.9	+ 14
長期借入金	-		-		-
その他固定負債	286		300		+ 14
<b>負債合計</b>	2,698	19.5	3,348	21.3	+ 650
<b>純資産合計</b>	11,147	80.5	12,344	78.7	+ 1,197
<b>負債・純資産合計</b>	13,845	100.0	15,693	100.0	+ 1,848

## ● 要約キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2014年3月期 金額	2015年3月期	
		金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,052	1,729	+ 677
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 313	△ 140	+ 173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 266	△ 289	△ 23
現金・現金同等物の増加額	472	1,300	+ 828
現金・現金同等物の期首残高	3,919	4,392	+ 473
現金・現金同等物の期末残高	4,392	5,692	+ 1,300
研究開発費	472	351	△ 121
設備投資実施額	162	17	△ 145
減価償却実施額	54	90	+ 36



# 当社の経営戦略

## ● 2016年3月期業績見通し

	2015年3月期		2016年3月期（予）		
	金額（百万円）	百分比（%）	金額（百万円）	百分比（%）	前期比（%）
<b>売上高</b>	9,519	100.0	10,803	100.0	+ 13.5
<b>営業利益</b>	2,320	24.4	2,511	23.2	+ 8.2
<b>経常利益</b>	2,323	24.4	2,514	23.3	+ 8.2
<b>当期純利益</b>	1,486	15.6	1,596	14.8	+ 7.4

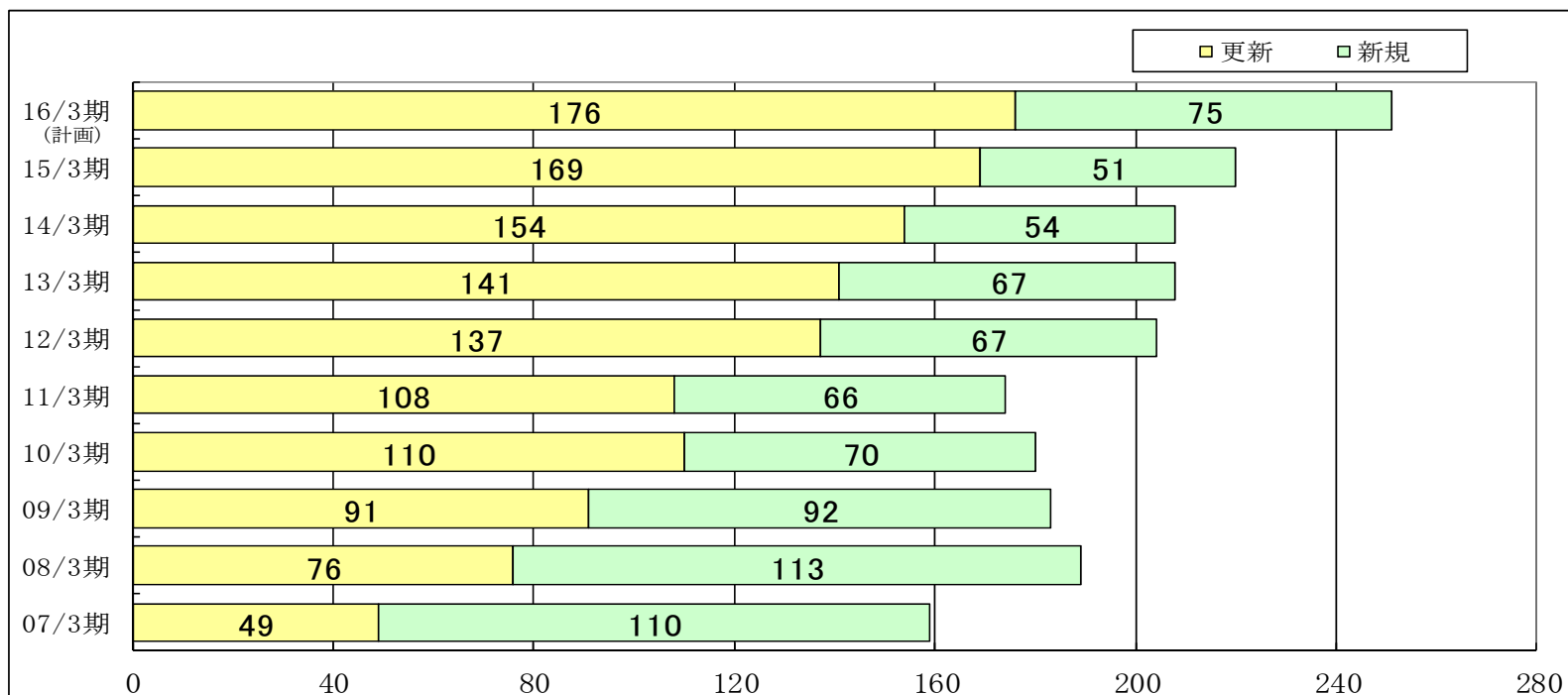
<b>研究開発費</b>	351	3.7	725	6.7	+ 106.6
<b>設備投資額</b>	17	0.2	18	0.2	+ 5.9
<b>減価償却費</b>	90	0.9	83	0.8	△ 7.8

## ● 今期の課題①

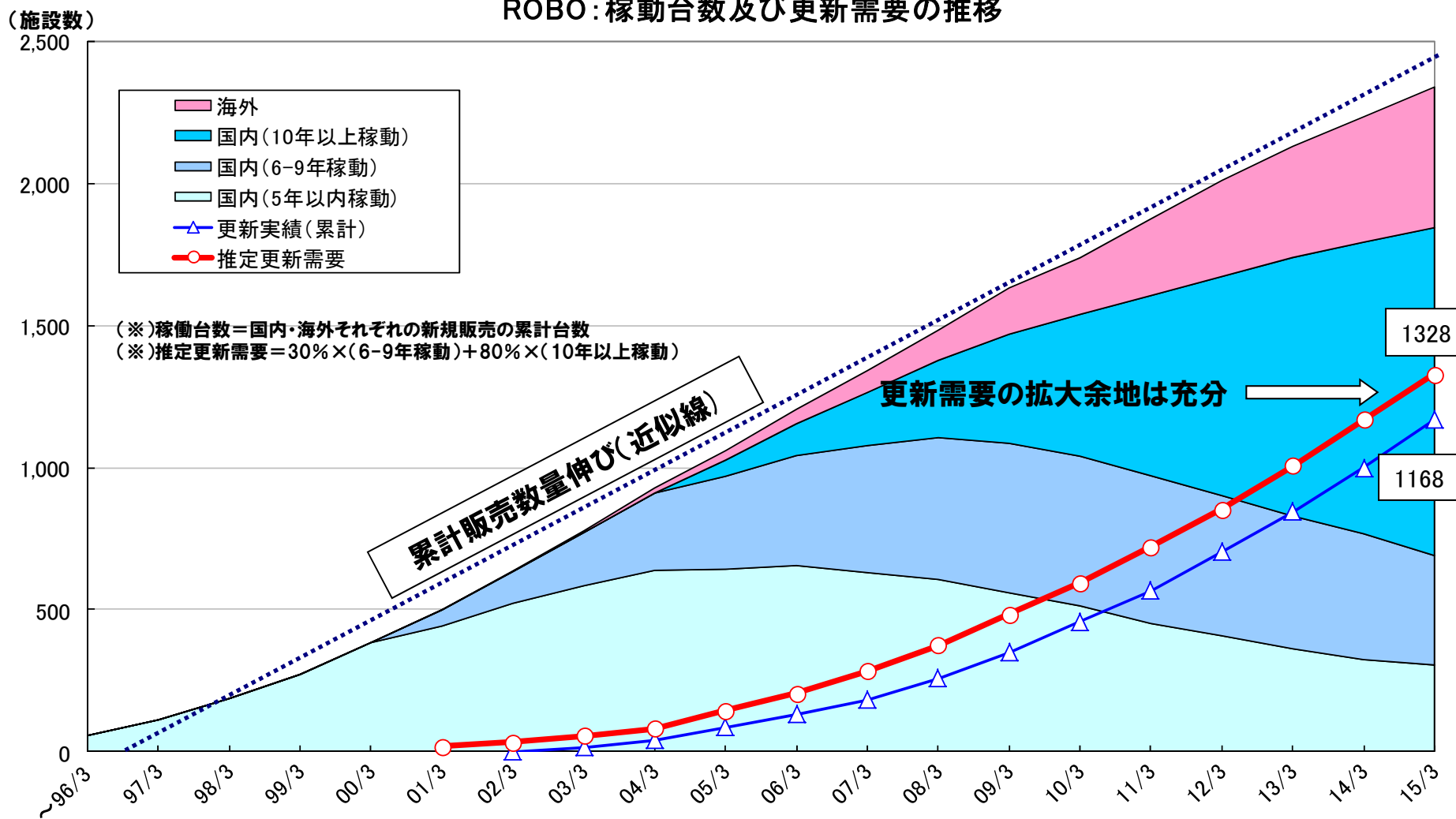
### ➤ ROBO

- ◆ 引続き更新需要(大病院向け)の着実な捕捉
- ◆ 高機能新製品・ニューコンセプト新製品の上市

ROBO納入施設数(国内)



## ROBO: 稼働台数及び更新需要の推移



## ● 今期の課題②

### ▶ 新市場を作る新製品販売強化

#### RFID

- ◆ BC・ROBO-8000 RFID
- ◆ UA・ROBO-2000 RFID
- ◆ u-TRIPS (RFID尿検体管理システム)
- ◆ TRIPS-Bt (RFID輸血患者情報管理・照合システム)



全自動尿分析・分取装置  
「UA-ROBO 2000」



#### 新規販路開拓、販売機会の拡大

- ◆ BC-ROBO-6 … 健診施設、クリニック等
- ◆ 新型静脈可視化装置「StatVein」… 小児科・麻酔科等
- ◆ 酸化ストレスマーカー … 大学の研究室等
- ◆ ヘルスケア新製品

アミノサイン … 必須アミノ酸リジン測定  
現代型低栄養の発見



非接触型静脈可視化装置  
「StatVein」





## ● 今期の課題②ー続き

### ▶ 検体検査装置

- ◆ 後継新製品 血液ガス分析装置「G-1800シリーズ」 の販売強化
- ◆ 新型電解質測定装置(STAX-5 inspire、STAX-6)の販売強化
- ◆ 電解質Na、K専用測定装置の量産製造継続(製造受託)

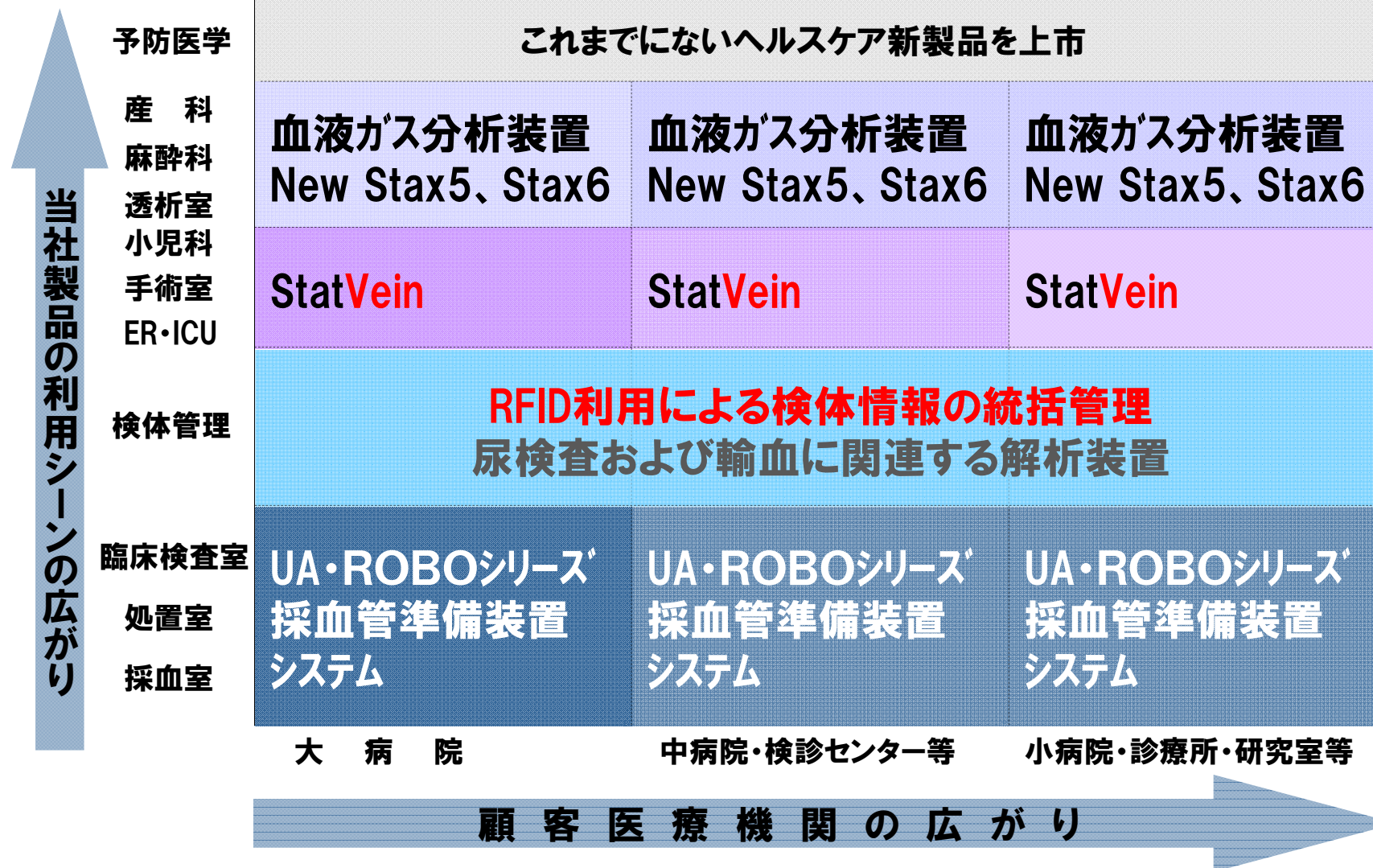


血液ガス分析装置  
「G-1800シリーズ」

### ▶ 輸出

- ◆ 新市場の開拓、既存市場での販売体制の強化
  - ・ 新興国＋先進国で新市場の開拓
  - ・ 資金回収の確実性確保を継続

## 新製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



## 中期事業計画(2014/3期~2016/3期)

### 最重要テーマ

#### ➤ スケールアップ

● 売上高伸び率目標      前年比+15.0%

#### ➤ 高収益率

● 売上高経常利益率      每期20%を確保

### 課題と施策

- ① 継続的な市場創出型新製品の上市←R&Dの選択と集中
- ② 医療現場におけるRFID活用領域の拡大
- ③ ヘルスケア事業の飛躍的拡大
- ④ 国内ROBO更新需要の確実な捕捉
- ⑤ 輸出売上の拡大

**<注意事項>**

**当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。**